

医療・介護崩壊の始まり 「動的平衡」の事業経営へ 第一に守るのは職員と家族



湖山医療福祉グループ
代表

湖山 泰成 氏
KOYAMA YASUNARI

1955年東京都生まれ。三井信託銀行勤務を経て、父・聖道氏が院長を務めていた銀座菊地病院役員として経営を再建。この再建を皮切りに、湖山医療福祉グループとして全国各地に事業展開し、医療法人10、社会福祉法人13、一般財団法人1、株式会社6、NPO法人1を擁している。現在、静岡県湖山リハビリテーション病院をはじめとする3つの病院・4つの診療所、618の高齢者介護・福祉施設等を展開。職員数13,311名(2023年11月1日現在)。ソーシャルビジネスの草分けとして社会事業経営の在り方を追究する。趣味は映画鑑賞で雑誌の映画評論なども手掛ける。

とさまざまな要因が相まって、医療・介護の事業経営の下り坂が始まることを考えています。24年の春以降、その崩壊が社会に顕現するのではないかと予測しています。

を利用できるため、子どもに負担を掛けることはありません。こうしたビジネスモデルにより、施設の利用者も働き手も確保でき、法人の経営も安定します。

そうした状況下、当グループは、外的な拡大よりも「動的平衡」の事業経営を展開していきます。動的平衡とは、簡単に言えば、身体(生命)は見かけ上で変化がなくても、体内の細胞は絶えず入れ替わっているということ。当グループでは、新規の施設を開設するよりも既存の建て替えに投資します。このため、ベッド総数はそれほど増えないかもしれませんが、職員には惜しみなく投資します。新卒者の採用と教育を毎年実施し、職員には介護福祉士や保育士の資格を取得してもらい、給料を支払い、定年まで働いていただきます。新しい投資としては、全国に職員寮を建設し、新入職員の住まいを用意します。また職員の親御さんには当グループの介護施設、職員の子どもや孫には当グループの保育園を利用していただくことができます。

現在、当グループは福島県内の約9000坪の土地に、120床の特養と職員寮、その隣に保育園を建設しています。職員の暮らす「こやま村」です。高い利益を追求しなくても、職員の生活を維持できればいいという考えです。湖山グループが健康保険組合、共済会のような存在に変わっていくことです。私が第一に守るのは、約1万4000人の職員と、その家族です。

明けましておめでとございます。2024年は、医療、介護崩壊が始まる年ではないでしょうか。24年度からコロナ融資の返済が行われま。医療、介護の経営はますます苦しくなり、倒産(事業再生)やM&Aの流れが一気に進むでしょう。

いて、近年では都市部の横浜市に新規オープンしても利用者が集まりません。さらに診療報酬、介護報酬の単価はどんどん下がり、働き手も不足しています。仮に働き手がいても、人件費が増えるだけで、ベッドが埋まるほどの利用者を確保できません。資金繰り、需要、人手不足な

介護が必要になった時には介護施設

ことも必要だと考えています。

湖山医療福祉グループ
代表
湖山 泰成 様

月刊医療・福祉経営情報誌
「Vision と戦略」1月号の送付について

拝啓、ご健勝の事とお喜び申し上げます。日頃よりのご指導、心より厚くお礼申し上げます。

この度はご多忙な中、当会月刊情報誌「Vision と戦略」にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

小誌発行にあたりましては、大変ご多忙中のところを特集の取材にお時間をいただき、校正確認等にご対応くださり、感謝申し上げます。

お陰さまで、令和6年1月号が完成いたしましたのでお送りいたします。今後とも「Vision と戦略」並びに保健・医療・福祉サービス研究会をよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様のますますのご健勝をお祈りいたします。

敬 具

令和5年12月吉日



HMS
Health Care Management Service

保健・医療・福祉サービス研究会

代表:田中優至

〒104-0061
東京都中央区銀座7-2-22 コリドースクエア銀座7丁目 2F
TEL:03-6823-8700 FAX:03-6823-8701
E-mail:info@hifsk.co.jp